

たかきのほ
【校訓】 喬に遷る ★求めよう知識と真理 ★鍛えよう心と体 ★飛び立とう希望の世界へ

【学校教育目標】
自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子どもの育成

【学び合う子】
聴き合う・表現し合う

- ◆友達と協働しながら意欲的に探究し、確かな学びをつくる。
- ・学びに向かう姿勢
「聴き合う」の徹底・タブレット活用
自ら問い続ける姿・家庭学習の定着
- ・学び合いの授業
「表現し合う」姿の追究
主体的・対話的で深い学び
生活科、総合的な学習を中心とした郷育の推進
- ・基礎基本の充実
補充学習・放課後学習支援・各種学力調査やEライブラリの活用

【支え合う子】
**一人一人を大切に
みんなで創る学校**

- ◆相互の理解を深め豊かな心をつくる。
- ・人権意識の高揚
多様性を認め合う・公の意識の育成
道徳の時間の充実
- ・児童会、保護者、地域と連携した規範意識の伸長
あいさつ・言葉遣い
- ・良質な集団形成
児童会活動活性化・自治能力育成
縦横のつながり・いじめ根絶

【鍛え合う子】
仲間と健康づくり

- ◆目標に挑戦し健やかな心身をつくる。
- ・健康の習慣化
早寝早起き朝ごはん・メディアコントロール・食育の推進
- ・運動の習慣化
体育授業の質の向上・外遊び
チャレンジランニング活用
- ・夢や希望を語り合い、切磋琢磨し合う場の設定
【知・徳とも関連】
**なりたい自分を目指して
仲間とともに
自分で自分を成長させる**

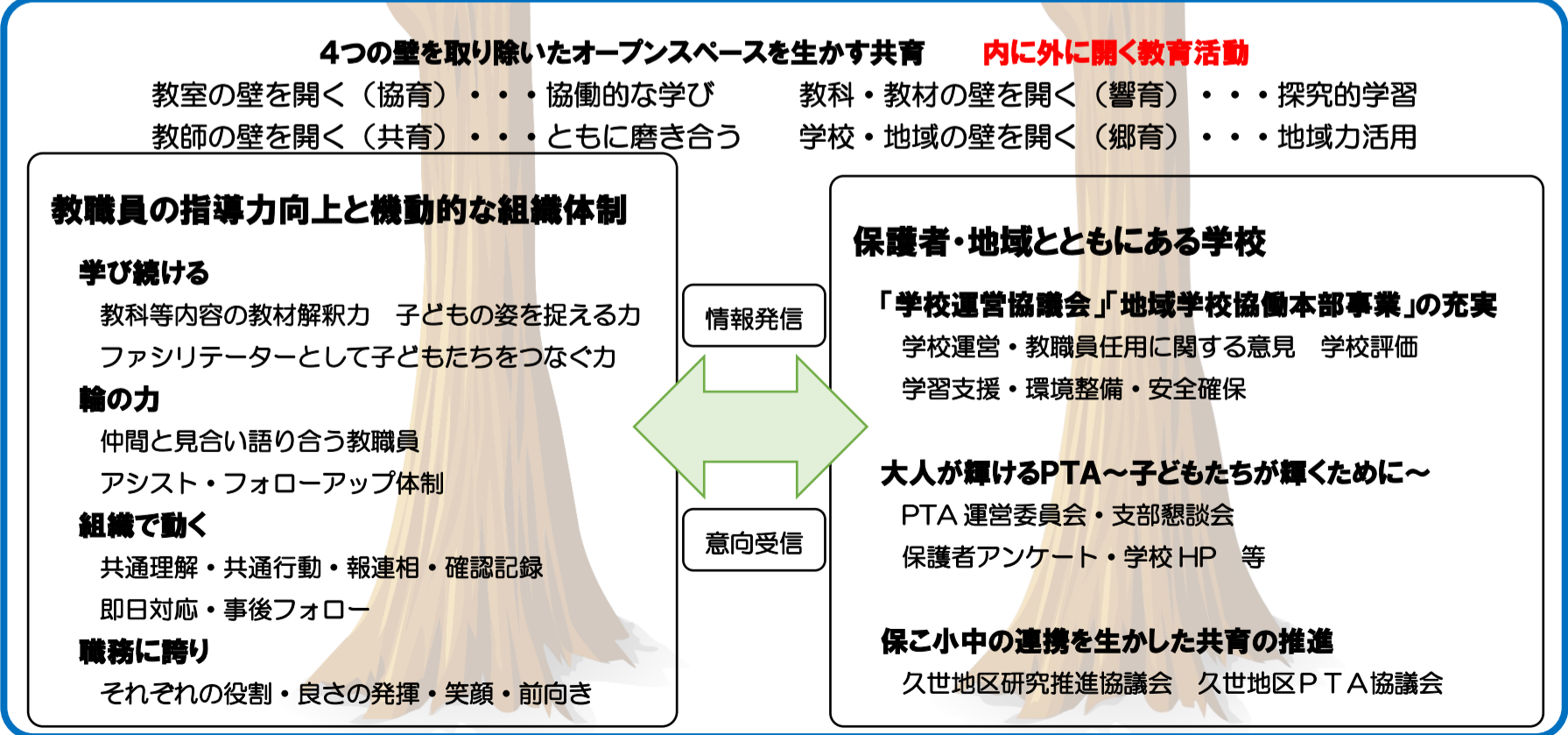
◆子ども一人一人のよさを伸ばす**特別支援教育**

- ・学習課題や生活課題の大きい児童への個別対応
ケース会議・教育相談等の充実
- ・通常学級における適切な指導と支援の効果的実践
学習の見通し・視覚支援等の活用

◆**健全な生活づくり～時・場・言葉を整える～**

- ・時間を守る チャイムスタート・黙って集合
- ・場を整える 整理整頓・はきものそろえ・ハチネボそろえ
- ・言葉を丁寧にする
あいさつ・返事・相手や場に応じた言葉遣い

【基盤になる教育理念】 子どもたちの自己肯定感を高める。
 子どもたちの意志力・気(やる気・本気・根気・元気)を培う。



遷喬小の校名の由来

中国詩経伐木三章十二句の中の一節

『出自幽谷遷于喬木』

〔幽谷より出でて、喬木にのぼる（うつるとも読む）〕

幕末から明治初期のにかけての備中聖人山田方谷が、学制以前から開かれていた「明倫館」塾にて自ら筆をとられた木額の文字が「遷喬」という校名の由来となりました。鳥が谷間から飛び立ち、大きな木に移るように、学問に励もうという熱い期待が込められています。これは、苦しさや貧しさにうち勝って大きくはばたき、世のため人のために役立つ立派な人に育っていこうという意味でもあります。

明治四十年落成。ルネッサンス風校舎と呼ばれる旧遷喬小学校。寸分の狂いもない基礎部のレンガ積み、長い年月を生き続けた分厚い床板、見るものを驚かせる講堂の格天井、しっかりと建っている柱、これらすべてが工匠たちの誇り高い情熱の結晶である。

校歌

詞 乗田まさみ
曲 小橋 潔

- 一 やまなみの すそひくところ
ふるさとは 平和にあけて
青空に ゆめがひろがる
遷喬は たのしい母校
はげもうよ みんななかよく
- 二 陽のひかり あふれるところ
旭川 ながれもきよく
おおらかに いのちはぐくむ
遷喬は たのしい母校
うたおうよ ころあかるく
- 三 しあわせの ほほえむところ
花ひらく あしたをみつめ
いくとせの あゆみすこやか
遷喬は たのしい母校
のびようよ つよくたたく



現校舎は西日本有数のオープンスクールとして平成二年九月に開校した。広いスペースと床のジュータンはまさに二十一世紀に託す夢そのものである。

「魔法のジュータン」は開校時に蓬郷和男校長が子どもたちを前に話したことばである。ここから未来へ、そして世界へ羽ばたいてほしい。魔法のジュータンにのって……

魔法のジュータン

詞・曲 奥山 仁

- 一 笑顔があふれる ほくらの遷喬
きょうもみんなが ほくを待っている
いつも笑顔あれば 元気がもりもりわいてくる
おころうあなたに ほほえみを
- 二 拍手をおくれば 拍手で答える
あなたがいるから ほくもここに
やさしい心あれば きつとみんなも幸せさ
おころうあなたに がんばれの拍手を
- 三 なやみはだれにも きつとあるはず
あなたがなくなるとき ほくも悲しい
勇気ひとつあれば 悲しみだつてのりこえる
みんながあなたの 応援団
- 四 ほくらの思いは 未来にひろがる
行こうよいっしょに 魔法のジュータンで
あつい思いあれば きつと空も飛べるはず
心は世界を かけめぐる



先人たちの教育への情熱で創りあげた明治の傑作、旧遷喬小学校。その創立意志を受け継ぎ、日本有数の本格的オープンスクールとして平成2年9月に開校した現校舎。旧久世町民・関係者の熱き思いを受け、一般会計30億円の内25億円を投入して建てられました。この校舎で学ぶことの意義と、伝統校としての誇りを忘れず、全ての子どもたちの幸せの実現に向けて、チーム遷喬として一丸となって教育活動を推進していきます。